

三重精機株式会社

ポジティブインパクトファイナンス評価書

2023年8月31日



大垣共立銀行とOKB総研は、三重精機株式会社（以下、「同社」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクト/ネガティブインパクト）を分析・評価した。

この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアチブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、大垣共立銀行とOKB総研が開発した評価体系に基づいている。

目次

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ	1
(1) 三重精機の企業概要	1
(2) 三重精機の事業概要	3
(3) 経営理念.....	6
(4) サステナビリティ.....	7
2. インパクトの特定	9
(1) バリューチェーン分析.....	9
(2) インパクトマッピング	10
(3) インパクトレーダーによるマッピング	10
(4) 特定したインパクト.....	15
(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認.....	18
3. インパクトの評価	21
4. モニタリング	24
(1) 三重精機におけるインパクトの管理体制.....	24
(2) 大垣共立銀行によるモニタリング	24

1. 企業概要と経営理念、サステナビリティ

(1) 三重精機の企業概要

企業名	三重精機株式会社	
創業	1937年2月	
設立	1984年9月27日	
代表者名	代表取締役 加藤峰幸	
資本金	2,000万円	
従業員	320人(2023年3月末)	
売上高	65億円(2023年度3月期)	
事業拠点	本社工場 三重県桑名市上野 970 第一工場 三重県桑名市繁松新田 1-1 第二工場 三重県桑名市繁松新田 8-1 第三工場 三重県桑名市西別所 28-2 テックIVセンター 三重県桑名市上野 971 大安第一工場 三重県いなべ市大安町大字南金井 1578-5 大安第二工場 三重県いなべ市大安町大字南金井 2712	
事業内容	切削加工・研削加工による金属製品製造 取扱品目 自動車用精密部品、医療用機器部品、半導体製造装置部品、他	
グループ企業	MIE SEIKI(THAILAND)CO.,LTD.	



<沿革>

1937年	合資会社三重精機所 創立、シン部品・懐中時計部品生産
1949年	工場 新設 (現 第三工場)
1975年	自動車部品受注
1983年	本社工場 新設 (現 第二工場)
1985年	三重精機株式会社に改称
1991年	第一工場 新設
1999年	第二工場 増設、トヨタ生産方式 (TPS) 推進
2004年	大安工場 新設 (現 大安第一工場)、ISO9001 認証取得
2006年	ISO14001 認証取得
2007年	テックIVセンター 新設、冷却圧造品2次加工ライン 実用新案登録
2011年	タイ法人 MIE SEIKI (THAILAND) CO.,LTD. 設立
2015年	新本社工場 新設、IoT加工サポートシステム実験開始
2018年	大安第二工場 新設
2020年	自動旋盤装置 特許取得
2021年	研修センター「創成館」開設
2022年	医療機器部品受注



(2) 三重精機の事業概要

同社は、精密部品の切削・研削加工を行い、自動車産業関連部品をはじめ、医療用機器、半導体製造装置の部品等幅広い分野の製品を取り扱う。

独自のツーリングと加工プログラムにより高い柔軟性と加工技術を有し、千分の1ミリにこだわった加工を行っている。業界の一般的な水準と比較して2倍程度の精度（研磨：千分の2ミリ単位、NC旋盤での切削：千分の8ミリ単位）の加工を可能としている。

また、加工効率も高度なレベルにあり、短納期で試作から量産まで立ち上げることが可能である。

【同社の強み】

① ツーリング

切削等に使用する刃物をプログラムに合わせ取舍選択、特注品も活用し、工具コストもしくは時間コストの効率化を柔軟に実現できるノウハウがある。

② 加工プログラム

業界の多くが切削機械に標準装備されたプログラムをベースにしている一方、同社は自社開発なので、上記ツーリングと合わせて他社では実現できない作業効率を可能としている。

また、筒状部品を加工した場合に、先端にバリのない加工を可能とするプログラムを独自開発。バリ取りの工程を省略することができ、低コスト短納期の対応ができる。

【主要製品】

現在の主力製品はエンジン部品。次いでパワーステアリング部品、ブレーキ部品である。

主に棒状金属の精密加工により、様々な部品を製作している。特に精密な穴をあける加工を得意とし、現在の主力製品では燃料やオイル、ブレーキ液などを通す穴をあける加工が必要なものが多い。穴をあける際にバリができない加工ができるため、2次加工の手間が不要となり、効率化やコスト低減となっている。

① ABS 部品

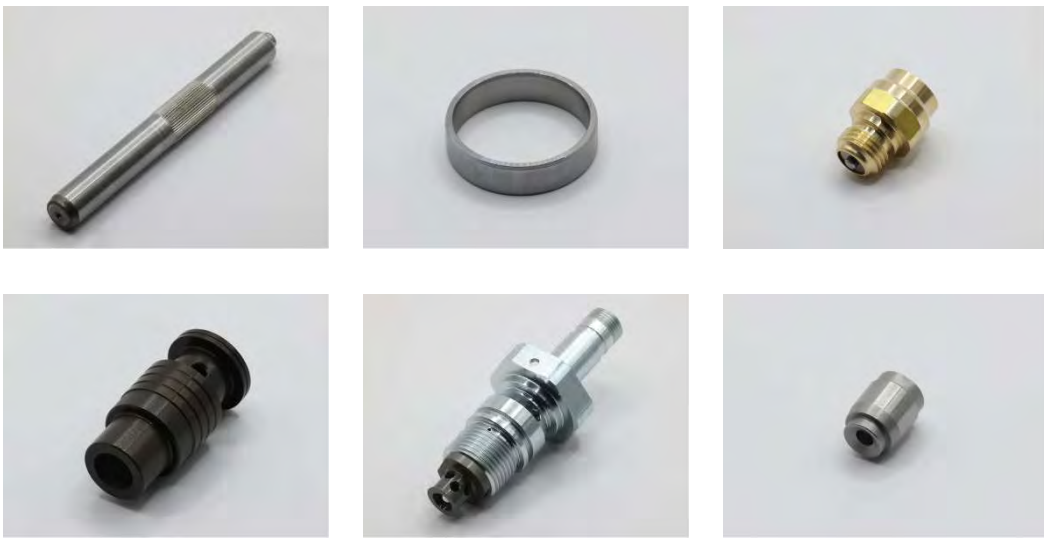
ABS（アンチロック・ブレーキシステム）に関わる部品を取り扱う。





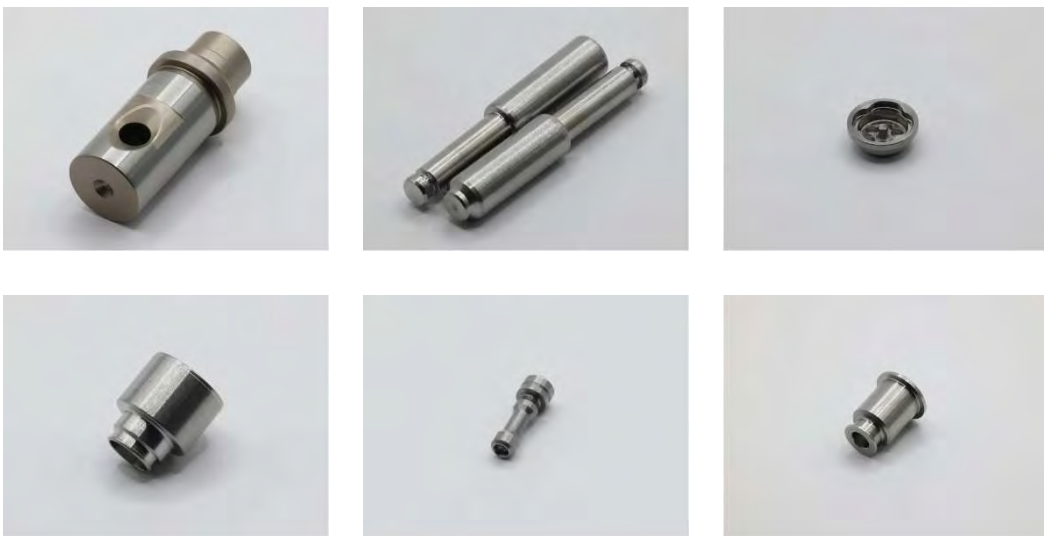
② パワーステアリング部品

パワーステアリングに関わる部品を取り扱う。



③ エンジン部品

直噴エンジンに関わる部品を取り扱う。



④その他

医療関連分野では、手術器具の部品（血液吸引鉗子の先端部品など）を製作する。また、半導体製造装置の部品の製造などにも取り組み、販路拡大をめざして営業活動、技術開発を進めている。

自動車関連以外の分野でも、同社の強みである切削加工技術を活かすことができるものであり、特に穴をあける加工では同社の技術を活かすことができる。

【今後の製品】

自動車のEV化が急速に進む中、主力製品のうちエンジン部品については、今後減少することが見込まれるため、対応が急務である。そこで、EVでも既存技術を応用できるブレーキ関連部品、電動パワステ部品に加えてeAxle（eアクスル）冷却部品などを既に受注している。さらに、設備投資の検討により、EV関連部品等の受注増加に努めている。

(3) 経営理念

「経営理念」

社会に奉仕出来る事。

又、社員には安定ある生活を！

地域社会を守るという創業者の意識の強さがあらわれた経営理念となっている。創業当時は近所の主婦が従業員となるなど地域密着型であり、今でも従業員の中で地元出身者の比率は高く、そのマインドは継承されている。

また、技術力に強みを持つ同社は、以下の企業目的を掲げる。加えて、ISO9001 を取得し、企業目的に連なる品質方針を掲げ、高い品質の製品提供に努めている。

「企業目的」

需要家に安心と満足頂ける製品作り。

“品質とコストへの挑戦”

「品質方針」

①お客様に業界 NO.1 の製品を提供する。

②お客様期待値を達成すべく最大限の努力をする。

1. お客様のニーズと期待を理解し、その要求事項と関連する法規制要求事項を順守する。
2. 全従業員に品質及び業務教育を実施し、品質マネジメントシステムの有効性の維持と継続的改善に努める。
3. 年度会社方針を策定し、品質目標として期毎の実施事項を明確にし、部門に展開する。また、その達成状況を定期的にレビューする。
4. 品質方針及び、年度会社方針は掲示し全従業員に周知徹底する。
また、品質方針は、HP 及びパンフレット等により、公開します。

以上の経営理念、企業目的の実現のため、具体的にありたい会社像「みんなが幸せであり続けられる会社」を掲げている。このありたい会社像から中期経営計画、年度方針、各部方針を立案し、各部方針の管理状況を毎月 1 回経営層が確認し、各部にフィードバックしている。

「みんなが幸せであり続けられる会社」

ここで言う「みんな」は三重精機で働く仲間のことだけを指すではありません。

私たちのお客様、仕入先様、私たちに関わる全ての人のことを指します。

そして、幸せにはいろいろな形があります。物心両面の幸せがあり、その形も十人十色です。

みんなが幸せであり続けることが出来る会社は、社会から必要とされ、永続的に存続できると考えています。

だから、私たちは「みんなが幸せであり続けられる会社」となりたいのです。

(4) サステナビリティ

同社は以下のような環境方針および SDGs 宣言を定め、これらを指針として課題に取り組んでいる。

「環境方針」

1. 全従業員参加により、環境保全活動に取組み、継続的改善による環境パフォーマンスの向上及び汚染の予防に努めます。
2. 全ての事業活動によって、生じる環境への影響を考慮し、環境目標を設定し、持続可能な資源の利用に努めます。
 - ①省エネの推進により、エネルギー原単位の低減に努めます。
 - ②廃棄物の排出量原単位の低減及び適切な処理に努めます。
 - ③地域社会への貢献。
3. 環境に関する法規制や、協定を順守するとともに、当社が同意するその他の要求事項を順守し環境保全に努めます。
4. 環境方針は、全従業員に周知し、環境意識の向上を図ります。
また、HP 及びパンフレット等により公開します。

SDGs 宣言では、「社会に奉仕出来る事。又、社員には安定ある生活を!」という経営理念のもと、事業活動を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献し、持続可能な社会の実現のため、以下のような取り組みを行うことを謳っている。

1. 需要家に安心と満足を頂ける製品作り

創業時から 80 年余りにわたり技術を向上させてきた超精密小物加工のプロ集団として、需要家の皆様に高品質かつリーズナブルな製品を提供することを目指す。

【主な取り組み】

- 自社独自のツーリングと加工プログラムによる高品質かつ低コストな製品の安定供給
- ISO9001 に基づく生産管理・品質管理
- トヨタ生産方式の推進
- 自動車用の高品質なブレーキ、パワーステアリング部品の供給
- 医療分野への製品の供給



2. 働きがいのある職場づくり

積極的な職場環境整備の取り組みとダイバーシティ経営の推進により、従業員一人一人が働きやすい職場づくりを目指す。

【主な取り組み】

- 「安全衛生方針」による災害のない職場環境づくりの徹底

- ・ 従業員が仕事と生活を両立できる職場環境の整備
- ・ 自社独自の現場教育により若手技術者の育成を推進
- ・ 資格取得制度により、従業員の成長をサポート
- ・ 女性活躍の推進
- ・ 女性従業員の育休取得・職場復帰率 100%、男性従業員の育休取得の推進
- ・ 育児者の時短勤務の推進
- ・ 外国人の正社員登用、障がい者雇用の実施



3. 環境に優しいものづくり

省エネ・省資源の取り組みで、環境負荷を軽減し、地球環境の保全に貢献する。

【主な取り組み】

- ・ 全社 LED 化及びカーボンフリー電気を全社で購入
- ・ ISO14001 に基づく環境に配慮した事業活動
- ・ 有害物質を含まない鋼材使用による土壌汚染のリスク排除
- ・ 工場排水の水質検査実施による油分や汚泥の除去
- ・ 騒音測定の定期的な実施による近隣家屋への騒音被害防止
- ・ 自動車用の高品質なブレーキ、パワーステアリング部品を安定供給



4. 地域社会への貢献

地域未来牽引企業として、持続可能な地域社会の実現に貢献する。

【主な取り組み】

- ・ 地元人材を積極的に採用
- ・ 中学生、高校生の職場体験機会を通じた教育機会の提供
- ・ 周辺の道路清掃活動の実施
- ・ 桑名市の社会福祉施設に対して絵本や空気清浄機などを寄贈



2. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

同社の事業を、主要事業である「自動車用精密部品製造業」、および今後注力していく事業である「医療用部品製造業」とする。

<バリューチェーン全体の構造>

①自動車用精密部品製造業（自動車用エンジン・パワーステアリング・ブレーキ部品）

鋼材商社等から、原料となる鉄やステンレス、真鍮、アルミ等を仕入れ、自社で切削・加工・検品までの工程を一貫して行い、自動車部品メーカーに納入している。



②医療用部品製造業（手術器具部品）

鋼材商社等から、原料となるステンレス等を仕入れ、自社で、切削・加工・検品までの工程を一貫して行い、医療用機器メーカーに納入している。



(2) インパクトマッピング

大垣共立銀行は、バリューチェーン分析の結果をもとに、事業毎にインパクトマッピングを実施し、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

(3) インパクトレーダーによるマッピング

①自動車用精密部品製造業

- 川上事業は、「基礎鉄鋼製造業（国際標準産業分類 2410）」、「基礎金属およびその他の非鉄金属の製造（同 2420）」とする。
- 同社事業は、「自動車用部品および付属品の製造（同 2930）」、「金属の処理とコーティング機械加工（同 2592）」、「その他のポンプ、コンプレッサー、タップ、バルブの製造（同 2813）」とする。
- 川下事業は、同社の製造部品のエンドユーザーである「自動車製造業（同 2910）」とする。

インパクト	川上事業				同社事業						川下事業	
	基礎鉄鋼の製造 (2410)		基礎金属および その他の非鉄金属の製造 (2420)		自動車用部品および 付属品の製造 (2930)		金属の処理とコーティング 機械加工 (2592)		その他のポンプ、コンプレッ サー、タップ、バルブの製造 (2813)		自動車の製造 (2910)	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水									●			●●
食料												
住居	●											
健康・衛生		●										●●
教育												
雇用	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エネルギー												
移動手段					●	●					●●	●
情報			●									
文化・伝統												
人格と人の安全保障												
正義												
強固な制度・平和・安定												
水（質）		●		●		●		●		●		●
大気		●		●		●		●		●		●
土壌		●●		●●		●				●		●
生物多様性と生態系サービス												
資源効率・安全性		●●		●●		●●		●		●		●●
気候		●		●		●●		●		●		●●
廃棄物		●		●		●		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●		●		●		●		●	
経済収束					●						●	

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す 「●」は影響があるカテゴリを示す

②医療用部品製造業

- 川上事業は、「基礎鉄鋼製造業（国際標準産業分類 2410）」とする。
- 同社事業は、「医療用および歯科用器具及び消耗品製造業（同 3250）」とする。
- 川下事業は、同社の製造部品のエンドユーザーである「病院（同 8610）」とする。

	川上事業		同社事業		川下事業	
	基礎鉄鋼の製造 (2410)		医療用および歯科用器具 および消耗品の製造 (3250)		病院の活動 (8610)	
インパクト	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
水						
食料						
住居	●					
健康・衛生		●	●●		●●	
教育						
雇用	●	●	●	●	●●	●
エネルギー						
移動手段						
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障						
正義						
強固な制度・平和・安定						
水（質）		●		●		
大気		●		●		
土壌		●●		●		
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性		●●		●		
気候		●		●		●
廃棄物		●		●		●
包括的で健全な経済	●		●			●
経済収束						

「●●」は重要な影響があるカテゴリを示す 「●」は影響があるカテゴリを示す

自動車用精密部品製造業および医療用部品製造業の事業で発現したインパクトについて、川上・同社・川下事業毎に対応する SDGs ターゲットを整理する。

川上事業

<全ての事業>

(i) 「土壌」・「資源効率・安全性」

- ・ 同社は、有害物質を含まない鋼材のみを仕入れており、NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
3.9：有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる

(ii) 評価対象外のカテゴリ

- ・ 「住居」、「健康衛生」、「雇用」、「情報」、「水（質）」、「大気」、「気候」、「廃棄物」、「包括的で健全な経済」については、同社による事業と直接的な関与が少いため評価対象外とした。

同社事業

<全ての事業>

(i) 「雇用」

- ・ 同社は、地元人材の積極的な採用や、女性が働きやすい環境の整備、若手技術者の育成に注力しており、PI 拡大に寄与している。また、自動検査機の導入による従業員の長時間労働の削減を図るなど、従業員の健康・安全面への配慮も行っており、NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
5.5：あらゆるレベルにおいて女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する
8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する
10.2：すべての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する

(ii) 「水（質）」

- ・ 同社は、研削、バレル研磨の工程において使用される排水の水質調査を実施し、海洋汚染の防止に努めており、NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
6.3：汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加により、水質を改善する
6.6：山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関する生態系の保護・回復を行う

(iii) 「資源効率・安全性」

- ・ 同社は、筒状部品を加工した場合に、先端バリのない加工を可能とするプログラムを独自開発しており、製造工程を省略することで、低コスト短納期の対応が可能であるため、NI の縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
12.2：天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する

(iv) 「大気」・「気候」

- ・ 同社は、全社 LED 化や、コンプレッサの稼働状況の見直しによって電力量を削減し、2023 年度よりカーボンフリー電気を全社で購入して、スコープ 1・2 における CO2 排出量の 98% 以上を削減するなど、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進しており、NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
7.3：2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる
13.1：気候関連災害や自然災害に対する強靱性と適応能力を強化する

(v) 「廃棄物」

- ・ 同社は、環境方針にて「廃棄物の排出量原単位の低減、および適切な処理」を掲げており、切削工程で発生する切子は、金属回収業者に回収してリサイクルされていること、また廃油は成分調整して再利用をしていることにより、NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により廃棄物の発生を削減する

<自動車用精密部品製造業>

(i) 「移手段」・「包括的で健全な経済」・「経済収束」

- ・ 同社の品質の高い自動車用エンジン、パワーステアリング、ブレーキ等の部品を安定供給することで、自動車産業のバリューチェーンを支えることで、PI 拡大に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
11.2：すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する

<医療用部品製造業>

(i) 「健康・衛生」

- ・ 同社の強みである切削加工技術を活かした手術器具の部品（血液吸引鉗子の先端部品など）の提供を通じた医療分野への貢献という PI 拡大に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

(IX) 評価対象外のカテゴリ

「移動手段」、「土壌」に関する NI は、同社の事業では発生しないため、対象外とした。

川下事業

川下の事業におけるインパクトで、同社が貢献または関係するインパクトは以下の通り。

(i) 「健康・衛生」・「大気」・「気候」

- ・ 同社は、EV でも既存技術を応用できるブレーキ関連部品、電動パワステ部品に加えて eAxle (e アクスル) 冷却部品などの製造を手掛けている。さらに、EV 関連部品等の受注増加に努めるなど、EV 製品の提供を通じた環境負荷軽減に貢献することで NI 縮小に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 3.9 : 有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる
 - 13.1 すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性 (レジリエンス) 及び適応の能力を強化する

(ii) 「移動手段」・「包括的で健全な経済」・「経済収束」

- ・ 同社の品質の高い自動車用エンジン、パワーステアリング、ブレーキ等の部品を安定供給することで、自動車産業のバリューチェーンを支えることで、PI 拡大に寄与している。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 11.2 : すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する

(iii) 評価対象外のカテゴリ

- ・ 「水」、「雇用」、「水 (質)」、「土壌」、「資源効率・安全性」、「廃棄物」に関するインパクトは、同社による事業と直接的な関与が少ないため評価対象外とした。

(4) 特定したインパクト

以上を踏まえて、同社のインパクトを環境、社会、経済の側面から特定した。

環境 (Environment)

温室効果ガス排出量の削減

- ・ 同社は、ISO14001 の取得や、環境方針に基づき、環境への取り組みを実践している。具体的には、照明のLED化などの省エネの推進、カーボンフリー電力の購入を行っている。また、太陽光パネルの設置など、カーボンニュートラルへの取り組みを強化していく方針である。
- ・ このインパクトは「大気」「気候」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
13.1：すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化する

環境に配慮した経営

- ・ 同社が使用する鋼材は、有害物質を含まないものを使用することで、土壌汚染などのリスクを排除している。
- ・ 工場排水について、桑名工場では年1回、大安工場では年2回水質検査を実施し、油分や汚泥の除去（適切な処理）を行っている。
- ・ 製造工程で出る廃棄物の削減にも取り組んでおり、金属くずについては、製品不良率の改善、加工技術の向上等により削減に取り組んでいる。
- ・ また、騒音測定を定期的を実施し、近隣住民の騒音被害を防止に取り組んでいる。
- ・ このインパクトは「水（質）」、「資源効率・安全性」、「廃棄物」のカテゴリに該当し、環境面の NI を縮小すると考えられる。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
6.3：汚染の減少、投棄廃絶と有害な化学物や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模での大幅な増加により、水質を改善する
6.6：山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼などの水に関する生態系の保護・回復を行う
12.4：化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する
12.5：廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する

EV 市場拡大への貢献

- ・ 同社が EV 用の高品質なブレーキ、パワーステアリング部品を安定供給することで、EV 市場の拡大に貢献している。
- ・ このインパクトは「健康・衛生」・「大気」・「気候」のカテゴリに該当し、環境面の PI を拡大すると考えられる。
SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
13.1：すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性及び適応の能力を強化する

社会 (Social)

高品質な製品作りの体制強化

- ・ 同社は、経営目的に「需要家に安心と満足頂ける製品作り」を掲げ、長年培った独自の技術を用いて、より速く精緻な製品提供が可能である。
- ・ また、ISO9001 を取得して、品質向上に向けた取り組みを継続している。今年度は、技術の継承と新たな加工技術の構築を行うため、不良件数の削減や勉強会の実施などに取り組んでいる。
- ・ このインパクトは「雇用」、「包括的で健全な経済」のカテゴリに該当し、経済面の PI を拡大すると考えられる。
- ・ SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。
9.1：地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱（レジリエント）なインフラを開発する。

医療分野への貢献

- ・ 同社は、2023年1月に「医療機器製造業登録証」を取得し、医療用部品の製造を開始した。今後、取扱製品を増やしていく方針である。自動車部品製造で培った切削加工技術を有する同社が、医療用部品製造を手掛けることで、高品質な製品を供給することが期待できる。
- ・ このインパクトは「健康・衛生」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- ・ SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。
3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

働きやすい環境の提供

- ・ 同社は、「安全衛生方針」を設定し、従業員の安全と健康を守り、災害の無い職場環境づくりを目指している。

【安全衛生方針】

1. 安全衛生関係法令を順守し、法令が存在しない場合は適正な基準を適用します。
2. リスクアセスメントの実施により、職場の危険・有害要因を明確にし、対策を推進します。
3. 従業員の心と体の健康保持増進のため、作業方法や執務環境などを適切に管理するとともに、健康診断やコミュニケーション等を通じた健康管理を推進します。
4. 従業員に対しての安全衛生教育及び周知活動を通じ、安全衛生意識の向上に努めます。

- ・ 従業員が仕事と生活を両立させることができ、従業員全員が働きやすい環境を作ることで、全ての従業員がその能力を十分に発揮できるようにするよう、以下の取り組みを行っている。
 - ①自動検査機の導入などによる業務の自動化、省人化による、生産性向上および時間外労働の削減
 - ②女性従業員の育休取得率 100%、男性従業員の育児休業休暇の取得率向上
 - ③育児者の短期勤務制度
- ・ このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大し、社会面の NI を縮小すると考えられる。
- ・ SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。
5.5：あらゆるレベルにおいて女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する
8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

従業員の育成

- ・ 同社は、持続可能な企業の成長のために、技術の継承を課題と捉え、同社では、特に若手技術者の育成に注力しており、自社独自のプログラムによる現場教育を実施している。また、資格取得支援制度を設け、従業員の成長をサポートしている。
- ・ このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- ・ SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
 - 8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす

ダイバーシティの推進

- ・ 同社の女性比率は 44%であり、先述の通り、女性が働きやすい労働環境の整備に取り組んでいる。今後は、女性役職者の比率向上（または女性役職者の配置）を検討している。また同社では、外国人の正社員登用も既に実施しており、国籍問わず快適に働くことのできる環境を整備している。
- ・ このインパクトは「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
 - SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 5.5：あらゆるレベルにおいて女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する
 - 8.5：雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する
 - 8.8：すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する

事業を通じた社会貢献

- ・ 同社は、社会と地域への配慮・貢献に取り組んでおり、地域に愛される経営を目指している。

<具体的な取り組み>

 - ・ 地元人材の積極的な採用
 - ・ 中学生の職場体験を受け入れる機会を通じた教育機会の提供
- ・ このインパクトは、インパクトリーダーにおいて「雇用」のカテゴリに該当し、社会面の PI を拡大すると考えられる。
- ・ SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。
 - 8.3：生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善等を通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する
 - 8.6：就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす

(5) インパクトニーズの確認、大垣共立銀行との方向性の確認

①国内におけるインパクトニーズ

- 国内における「SDGs インデックス&ダッシュボード」を参照し、国内のインパクトニーズと同社のインパクトを確認する。
- 上記工程を経て特定した、同社のインパクトに対する SDGs は、「3. あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」、「5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」、「6. すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」、「8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのあるディーセント・ワークを促進する」、「9. 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る」、「11. 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」、「12. 持続可能な生産消費形態を確保する」、「13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」である。
- 国内における SDGs ダッシュボードでは、「5、12、13」において大きな課題が残る、「3、6、8、11」において、課題が残るまたは重要な課題が残っており、国内のインパクトニーズと同社のインパクトが一定の関係性があることを確認した。



②海外におけるインパクトニーズ

- 同社は、タイに関連会社として「MIE SEIKI (THAILAND) CO., LTD.」を設立して、自動車部品の製造販売を行っているため、海外のインパクトニーズについても整合性を分析する。
- 特定したインパクトに対する SDGs のゴールが「タイ」においても重要度が高いことが確認できる。



③三重県におけるインパクトニーズ

- 同社の事業活動が、地元三重県と愛知県を中心として行われているため、「三重県 SDGs 未来都市計画」、「愛知県 SDGs 未来都市計画」を参照し、各県の SDGs 達成に向けての課題を確認した。
- 下記のとおり、同社の取組は、各県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

三重県 SDGs 未来都市計画 –SDGs の推進に資する取組（抜粋）–
<p>○ Society 5.0 時代の産業創出、次世代ものづくり産業の振興</p> <p>県内中小企業・小規模企業が抱えている人手不足解消・生産性向上といった社会的課題に対応するため、県内ものづくり企業と連携を図りつつ、高度 3 次元加工機器に関する研究会を通じて、今後必要とされる高度ものづくり技術者の育成を支援し、県内ものづくり企業の生産性向上並びに事業拡大、新規雇用の創出、職場への定着を促進するとともに、航空宇宙産業及び次世代自動車関連産業における技術者の育成や付加価値の向上を図る。</p>
<p>○ 多様な主体とのパートナーシップ</p> <p>環境と経済が両立する持続可能な循環型社会の構築に向けて、県内事業者の自主的な環境経営の取組を促進し、温室効果ガスの排出削減を図る。</p>

愛知県 SDGs 未来都市計画（第二期） – SDGs の推進に資する取組（抜粋） –

○中小企業の持続的発展に向けた支援

「100 年に一度の変革期」に直面している自動車関連の中小企業や、デジタル化の進展により大きく変化する産業構造の中にある中小企業が持続的に発展していくため、新事業展開やデジタル技術活用の支援を行う。

○若者の活躍促進

若者が社会で活躍できるよう、企業における若者の就労や職場定着の取組を支援する。

○女性の活躍促進

全庁横断的に設置したプロジェクトチームのもと、経営者の意識改革やワークライフバランスの推進、保育サービスの充実、女性の企業や再就職支援など、働く場における女性の活躍を促進する。

○「あいち地球温暖化防止戦略 2030」の推進

地球温暖化防止に関する取組を総合的かつ計画的に推進する。

○EV・PHV・FCVの普及促進

EV・PHV・FCVといったゼロエミッション車の普及を推進する。

④大垣共立銀行が認識する社会課題との整合性


- ・ 大垣共立銀行は、「サステナビリティ基本方針」において「地域経済の持続的成長」「地域のイノベーション支援」「多様な人材の活躍推進」「気候変動対応、環境保全」「地域資源の活用」「コーポレートガバナンスの高度化」の6つを重点課題（マテリアリティ）としている。
- ・ 同社の特定したインパクトにおいて、環境に関連するインパクトは、大垣共立銀行の「気候変動対応、環境保全」と方向性が一致する。
- ・ 「高品質な製品作りの体制強化」、「医療分野への貢献」は、大垣共立銀行の「地域経済の持続的成長」と方向性が一致する。
- ・ 「働きやすい環境の提供」、「従業員の育成」、「ダイバーシティの推進」、「事業を通じた社会貢献」は、大垣共立銀行の「地域経済の持続的成長」、「多様な人材の活躍推進」、「コーポレートガバナンスの高度化」と方向性が一致する。

以上のように、大垣共立銀行は本件の取組みが、SDGs の達成および貢献に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることにつながることを目指している。


3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、PI の拡大、NI の縮小・管理が適切になされるかを評価し、特定したインパクトに対し、それぞれにKPIを設定する



EV 市場拡大への貢献

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてPIを拡大
カテゴリ	「大気」、「気候」
関連するSDGs	
内容・対応方針	・EV 自動車部品の対応強化
KPI	・2030 年までに EV 関連部品の売上を全体の売上構成比 10%を達成する


温室効果ガス排出量の削減

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてNIを縮小
カテゴリ	「大気」、「気候」
関連するSDGs	
内容・対応方針	・EV 自動車部品の対応強化 ・温室効果ガス排出量削減に向けた取り組み
KPI	・2035 年までに Scope 1、2 のネットゼロを達成


環境配慮経営

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面において NI を縮小
カテゴリ	「水（質）」、「資源効率・安全性」、「廃棄物」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・水資源保全への取り組み ・廃棄物の適切な処理 ・製造工程内のロスの削減
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・水質検査の定期的な実施継続による海洋汚染防止の徹底 ・ISO14001 の継続更新 ・廃棄物の適切な処理の継続による廃棄物排出量を毎年前年比 1%低減する

高品質な製品の提供

項目	内容
インパクトの種類	経済的側面において PI の拡大
カテゴリ	「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・高品質な製品の安定供給のための体制強化
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO9001 の継続更新 ・年間の不良品発生件数を前年ベンチマークより 5%低減する

医療分野への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI の拡大
カテゴリ	「健康・衛生」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・医療部品製造の販売強化
KPI	・医療分野の売上を 2030 年までに全体の売上構成比 2%を達成する

働きやすい職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI の拡大 社会的側面において NI の縮小
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスの推進 ・労働災害の防止
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・男性の育休取得率の増加 ・女性の育休取得率 100%の維持 ・労働災害件数を年間 0 件とする

従業員の育成

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI の拡大
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・若手従業員の技術習得
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・自社教育プログラムにおける、プログラミングにかかる資格取得者を毎年 15 人増やす

ダイバーシティの推進

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI の拡大
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の活躍
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2030 年までに女性管理職を 2 人配置する

事業活動を通じた社会貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面において PI の拡大
カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の雇用による地域の人材活性化 ・職業体験実施による地域人材の育成
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験の受入継続 ・地元人材採用の継続

4. モニタリング

(1) 三重精機におけるインパクトの管理体制

- 同社では、経営管理部限務課 大河内課長を中心に、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。
- 今後については、加藤社長を統括責任者とし、管理責任者の高橋専務を中心に SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

(2) 大垣共立銀行によるモニタリング

- 本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と大垣共立銀行の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、大垣共立銀行と OKB 総研が現時点で入手可能な公開情報、同社から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 大垣共立銀行、および OKB 総研が本評価に際して用いた情報は、大垣共立銀行および OKB 総研がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は OKB 総研に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。